Ⅱ　教育方針

１　羽根小の教育

経営理念

○憲法、教育基本法の精神と変化する時代の流れや課題を踏まえ、様々な分野で豊かな創造性やしなやかな知性を発揮し、互いの個性や絆を大切にできる社会づくりに貢献する未来を切り拓く力のある子どもたちを育てたい。
○すべての教職員が、学校経営に積極的に参画し、使命感をもって自らの資質や能力を磨き、チーム羽根小として「まなざしの共有」のもと、本校児童のためによりよい教育活動の創造に努める。
○「すべての教育活動は子どもたちのために」の視点から、家庭や地域と連携・協働を図りながら、将来に繋がる学び方と生き方を教える学校として、その使命を果たす。

経営基本方針

【児童が登校を楽しみにするチーム羽根小の学校づくり】
１．自ら学び考え、伝え合う授業づくり
　→（指導法の工夫改善、基礎基本の定着と学力の向上）
２．豊かな関わり合い、認め合いができる仲間づくり
　→（人権教育、道徳教育、集団づくり）
３．健やかでたくましく生きる力の育成
　→（基本的生活習慣の確立、体力向上、命を守る教育）
４．地域社会に学ぶ活動、体験学習の充実
　→（保育所・中学校・地域社会との連携・協働、外部の人材活用）
５．様々な状況の子どもたちへの教育支援の充実
　→（特別支援・自立支援、効果的な学習支援の実施、関係機関との連携）

教育目標

人間性豊かで、行動力のある、心身ともに健康な児童の育成

めざす姿

めざす学校像	めざす子ども像	めざす教職員像
▪児童が登校を楽しみにする学校 ▪教職員がチームの一員としてよさを発揮して活躍する学校 ▪家庭や地域と協働して子どもを育てる学校	▪進んで学習する子 ▪思いやりのある子 ▪たくましい子	▪資質と指導力の向上に努める教師 ▪児童を理解し、やさしさのあふれる教師 ▪現状の共通認識に努め、協力する教師

重点目標

確かな学力	◎児童の学習意欲を高めるともに、基礎・基本の定着と向上を図りながら「生きる力」の基礎を培う
豊かな人間性	◎地域の実情と児童の実態をつかみ、教師と児童、児童相互の人間関係を深め、仲間を大切にする教育をめざす
健康・体力	◎たくましく生きるための健康や体力の育成

研究主題

「豊かなかかわりを大切にして、自分の思いや考えを伝え合う子どもの育成」
～自ら考え 学び合い 主体的に行動できる力をつける～

具体目標

1　自ら学び考え、伝え合う授業づくり　**＊主体的・対話的で深い学びがある授業**

- 外国語教育の授業研究
- 算数科の授業研究
- 学習課題と評価の研究
- 学習過程の構成
- 学習規律の徹底

- 指導法の工夫改善
- つけたい力をつける
（思考力・読解力・探究力）
- まなざしの共有
（聞き方・話し方・対話力の向上）

- 学力調査の分析・活用
- 基礎基本の定着
- 家庭学習定着の取組
- 読書に親しむ工夫
- 学ぶ仲間づくり

2　豊かな関わり合い、認め合いができる仲間づくり

- 人権教育
- 道徳教育
- 平和学習

- キャリア教育
- 生徒指導
- 児童会活動

- 縦割り班活動によるよりよい人間関係の育成
- いじめを生まない仲間づくり
- 認め合う学級集団づくり

3　健やかでたくましく生きる力の育成

- たくましい体の育成
- バランスのとれた運動能力
- 運動に対する態度の育成

- 基本的生活習慣の確立
- 生活実態調査と改善の取組
- 食を通した教育の充実

- 自分の命は自分で守る
- 防災・安全教育の取組
- 防災・安全管理の強化

4　地域社会に学ぶ活動、体験学習の充実

- 地域教材と関わり（歴史・文化・伝統・郷土・産業）
- 自然体験（環境）
- 社会体験（労働・奉仕）

- 保育所、中学校との連携
- 地域社会との連携・協働
- 外部の人材活用

5　様々な状況の子どもたちへの教育支援

- 特別支援教育の充実
- ユニバーサルデザインの授業づくり
- 個別支援の取組
- Q-U アンケートの活用
- カウンセリングマインドによる児童理解
- 校内研修の充実

- 自立支援への取組
- 支援体制の整備
- 家庭、地域社会の特別支援教育理解
- 地域の関係機関とのネットワーク化
- 関係機関との連携
（児童相談所・教育研究所等）

6　信頼される学校づくり

- 保護者、地域との連携
- PTA 活動による関係づくり
- 学校評価（自己評価・関係者評価）
- 地域のなかの学校づくり